

長崎大学・熱帯医学研究所(熱研) ～全力講座～

長崎市民の皆様の感染症の疑問にお答えします。

現在アフリカではエボラ出血熱の感染が拡大しており、連日報道されています。また、
昨年の SFTS、この数年のインフルエンザの話題も注目を集めました。長崎大学・熱
帯医学研究所は設立以来約 70 年、こうした感染症を制圧するための研究を続けてま
いりました。

第一回：SFTS、クリミア・コンゴ出血熱と今後の研究において BSL-4 に期待される役割

日時：9月3日(水) 19:00 から

会場：長崎市チトセピアホール(長崎市千歳町5番1号)(入場無料・先着500名さま)

講演者：森田 公一(熱帯医学研究所・所長)

◆昨年話題になったけど SFTS、クリミア・コンゴ出血熱はどんな病気？

昨年大きな話題になった重症熱性血小板減少症候群(SFTS)。長崎県内でも6名が感染し、2名が亡く
なりました。また、アフリカから中国の新疆ウイグル地区にかけては、SFTS に似たクリミア・コンゴ
出血熱が発生しています。

今回は、これらの実態とともに、熱研のこれまでの研究成果や今後期待される成果をわかりやすくご説
明します。併せて、予防策についてもお伝えします。

(アドバイス)・マダニに噛まれると感染する可能性があります。・野山に分け入るときは極力素肌の露出を控え
て下さい。・マダニに噛まれて発熱したときは直ぐに近くの病院へ。特に50歳以上の方は気を付けて下さい。

第二回：鳥インフルエンザと今後の研究において BSL-4 に期待される役割

日時：9月7日(日) 13:30 から

会場：長崎市山里地区ふれあいセンター(長崎市高尾町4-10)(入場無料・先着100名さま)

講演者：安田 二郎(熱帯医学研究所・教授)

◆よく話題になるけど鳥インフルエンザは人に感染するの？

鳥インフルエンザウイルスは、稀にヒトに感染し、なかには致死性の強いもの(高病原性)があります。
人から人へ感染しやすい高病原性ウイルスが出現すると、20世紀初頭に世界で数千万人の死者を出し
たスペイン風邪以上の被害が出るといわれています。

そこで、長年インフルエンザウイルス研究を行ってきた熱研の専門家が、これまでの研究によって判明
したことや今後期待される研究成果などをご説明するとともに、大流行への備えについてもわかりや
すくお話しします。

(アドバイス)・鳥インフルエンザウイルスはウイルスを保持する鳥との密接な接触によってのみ感染します。・通
常のインフルエンザの予防接種は効きません。

今回は感染症研究のこれまでの成果と今後の展望をご説明するとともに、これからの
感染症との戦いにおいて重要な役割を期待されている高度安全実験施設(BSL-4)、即
ち、最も安全に研究を行うための施設について皆様とともに考えたいと思います。

第三回：エボラ出血熱と今後の研究において BSL-4 に期待される役割

日時：9月21日(日) 13:30 から

会場：長崎市立図書館多目的ホール(長崎市興善町1-1)(入場無料・先着200名さま)

講演者：高田 礼人(北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター・教授)

◆エボラウイルスが日本に来る可能性は？

エボラ出血熱は、現在、アフリカでの感染拡大が連日報道されている感染症です。致死率が高く、しか
もワクチンや治療薬が未だ実用化されていません。しかしながら、世界中の感染症研究者による必死の
努力により、少しずつ光明が見えてきました。

今回は、エボラ出血熱に関する研究の第一線でご活躍中の高田礼人 北海道大学教授に、最新の研究成
果についてお話しいただきます。

(アドバイス)・空気感染は起こりません。・感染者の血液、体液や排泄物には触れないで下さい。
・一般の飲み水や食事を介した感染は起こりません。

第四回：様々な感染症と今後の研究において高度安全実験施設(BSL-4)に期待される役割

BSL-4 はいかに長崎、日本、世界を守るか？

日時：9月29日(月) 19:00 から

会場：長崎市立図書館多目的ホール(長崎市興善町1-1)(入場無料・先着200名さま)

講演者：森田 公一(熱帯医学研究所・所長)、安田 二郎(熱帯医学研究所・教授) 他

◆高度安全実験施設(BSL-4)ってどんな施設？どんな役割が期待されているの？

デング熱や西ナイル熱、MERS(中東呼吸器症候群)やSARS(重症急性呼吸器症候群)、ニパウイルス感
染症など、重い感染症を引き起こすウイルスは、いつでも日本国内に入ってくる可能性があります。
こうした感染症を制圧するために、熱研を含む世界の感染症研究者がいかに戦い、成果を生み出して来
たか、その後の研究においてBSL-4がいかなる役割を期待されているかをご説明します。

(ポイント)・感染症の拡大はヒトの栄養状態、衛生環境、正しい知識の有無などに大きく依存しています。
・感染症の封じ込めには早期診断・早期治療、感染経路の遮断が必要です。・感染症研究は皆様の安全・安
心に役立ちます。

一人ひとりの命を守るために長崎大学・熱帯医学研究所は感染症と戦い続けます！



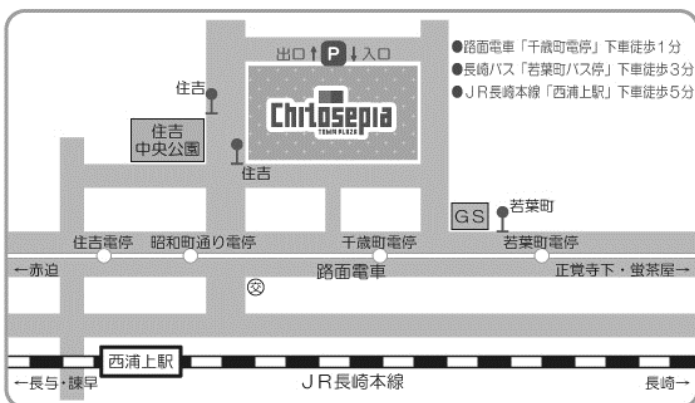
◆説明会会場のご案内

第一回説明会会場

長崎市チトセピアホール

長崎市千歳町5番1号

TEL : 095-842-2111



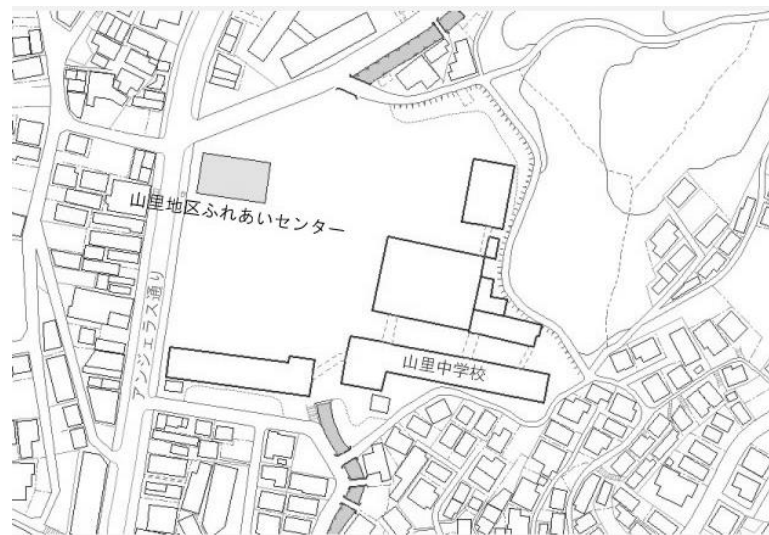
- ・駐車台数 372台
- ・営業時間 ◎チトセピア駐車場 06:00~23:00
- ・駐車料金 30分ごとに100円
- ・駐車場への入庫について 高さ2.1m、幅2.0mまで

第二回説明会会場

長崎市山里地区ふれあいセンター

長崎県長崎市高尾町4-10

TEL : 095-843-0095



第三回および第四回説明会会場

長崎市立図書館多目的ホール

長崎市興善町1-1

TEL : 095-829-4946



説明者の略歴



森田 公一 (もりたこういち)

長崎大学・熱帯医学研究所 所長・教授(ウイルス学)

長崎大学医学部卒業

長崎大学大学院医科学研究科博士課程を修了。

世界保健機構西太平洋事務局(WHO-WPRO)感染対策課・課長を経て現職。



安田 二郎 (やすだじろう)

長崎大学・熱帯医学研究所 教授(新興感染症学)

北海道大学獣医学部卒業。総合研究大学院大学生命科学研究科博士課程修了。

米国アラバマ大学、東京大学医科学研究所、北海道大学遺伝子病制御研究所、警察庁科学警察研究所を経て現職。



高田 礼人 (たかだあやと)

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター・教授(国際疫学部門)

北海道大学獣医学部研究科博士課程修了。東京大学医科学研究所を経て現職。

長崎大学・熱帯医学研究所では、熱帯医学ミュージアムを企画・運営しています。

展示内容は、以下のとおりです。

- ・熱帯地域における感染症・寄生虫症の紹介
- ・それら病原体や自然宿主・媒介動物の紹介
- ・これらの研究に対する熱帯医学研究所の取り組みと成果の紹介
- ・これらの研究に必要な施設や設備の紹介

(高度安全実験施設(BSL-4)に関しては、作業風景のビデオ上映や防御スーツの試着体験が可能。)

随時、見学希望者を受け入れています。(平日9:00-17:00、土日、祝祭日は休館)

あらかじめご連絡いただければ、担当者がご説明しながらご案内いたします。

中学生や高校生も大歓迎です。

ご興味のある方は下記までご連絡下さい。

〒852-8523

長崎市坂本一丁目12番4号

長崎大学・熱帯医学研究所

熱帯医学ミュージアム

TEL:095-819-7603

FAX:095-819-7868

e-mail:biosafety@ml.nagasaki-u.ac.jp

